

起業家教育事業業務委託に係る質問・回答一覧

業務名		起業家教育事業業務委託
NO	質問内容	回答内容
1	昨年度に実施した起業家教育事業で感じた課題を教えてください。	ワークショップ参加後の継続支援の仕組みが確立できていないことです。
2	機運の醸成について想定で構いませんので、以下詳細を教えてください。 ・訪問する対象校は誰が決めるのか ・実施が想定される時間（ホームルームの時間 15 分程度、探求の時間 45 分程度等）	こおりやま広域圏内の高校等から候補となる学校を提案していただき、候補となった学校との協議により受け入れが決定した場合訪問する想定です。時間に関しては訪問先の学校の希望に応じた対応となる想定です。
3	ブース出展の概要にある「議事録の作成」とはどのような業務を想定すると良いでしょうか	出展に関する打合せ等の議事録を想定しています。
4	アンケートの実施にある「ビジネスアイデアコンテスト」とは何を指しますでしょうか	仕様書「3 業務内容」中、「(2) 発表機会の提供」中、「ウ 審査」でビジネスアイデアの審査を実施する想定です。
5	ワークショップに参加する生徒の選定のプロセスには、委託業者は関与しますか。生徒募集や、選定業務に関わる費用も見込んだ方がよいでしょうか。	仕様書「3 業務内容」の「(1)ワークショップの開催」中、「キ その他」に基づき参加者の集客募集は受注者により実施してください。なお、選定については選定方法や審査基準等を発注者と受注者の協議により決定することを想定しています。
6	ワークショップの会場について、行政が管理する公共施設を使用する場合でも、使用料は見込んだほうがよいでしょうか。	必ずしも市の施設を無償で利用できるとは限らないことを踏まえ見積もりを積算してください。
7	【該当箇所】仕様書 3(4)「ブース出展」 【質問内容】令和 8 年 7 月 8 日開催の「みらい発見フェスこおりやま」ブース出展について、契約締結（令和 8 年 5 月下旬～6 月上旬想定）から開催まで準備期間が限定的です。契約締結前の段階から、受注候補者がファシリテーター候補者への打診や企画立案等の準備に着手することは可能でしょうか。また、本フェスの全体運営主体と	契約締結前の準備行為は本業務委託外となります。 また、本フェスの全体運営主体との連絡調整は、発注者が窓口となります。

	<p>の連絡調整は、発注者と受注者のいずれが窓口となることを想定されていますでしょうか。</p>	
8	<p>【該当箇所】仕様書 3(3)「機運の醸成（キャラバン）」</p> <p>【質問内容】こおりやま広域圏内の高等学校等 10 校程度を訪問するキャラバンについて、訪問先の選定は受注者が提案する形式でしょうか、あるいは発注者より候補リストの提示がございましたでしょうか。また、既に受注者が令和 7 年度に訪問実績のある高校との重複についても許容されますでしょうか。</p>	<p>こおりやま広域圏内の高校等から候補となる学校を提案していただき、候補となった学校との協議により受け入れが決定した場合訪問する想定です。また、令和 7 年度に訪問した高校との重複は差支えありません。</p>
9	<p>【該当箇所】仕様書 3(2)「発表機会の提供」</p> <p>【質問内容】発表機会として「本市が実施する社会起業家加速化支援プログラム等、他の事業との連携」との記載がございます。発注者として連携を想定されている具体的な事業を、ご教示いただきたく存じます（例：社会起業家加速化支援プログラム成果報告会、地域クラウド交流会、等）。</p>	<p>社会起業家加速化支援プログラムの成果報告会以外の想定はありません。事業目的達成のため効果的な連携を提案してください。</p>
10	<p>【該当箇所】仕様書 3(5)「情報発信」</p> <p>【質問内容】専用ウェブサイトのドメイン保持について、「委託期間終了後においても一定期間ドメインを保持すること」との記載がございます。この「一定期間」の具体的な年数（例：1 年間、3 年間等）について、発注者としての想定をご教示いただきたく存じます。</p>	<p>受託期間終了後のドメインの保持期間については、新たなウェブサイトの設置や移行の周知等に要する期間として 6 か月程度を想定していますが、具体的な期間は協議になります。</p>

11	ワークショップの開催にあたり、定員 20 名を上回る応募があった場合、市として抽選または選抜を想定されていますでしょうか。選抜を想定されている場合は、選抜方法や基準についてご教示ください。	選抜を想定しています。選抜方法や審査基準については発注者と受注者の協議により決定することを想定しています。
12	ワークショップは「連続した 2 日間」とありますが、土日開催を想定されていますでしょうか。平日開催の可能性はあるかどうかも含めて、実施時期の想定があればご教示ください。また、16 時間程度とありますが、各日の標準的な実施時間帯についてもご教示ください。	曜日に関わらず学生が参加可能な日程を発注者と受注者の協議により決定することを想定しています。実施時間帯についてはプログラムの内容に合わせてより効果的な提案を行ってください。
13	ワークショップの参加者募集にあたり、学校経由での案内配布、チラシ配布、メール配信、自治体関連メディアを通じた周知など、発注者としてご協力いただける範囲をご教示ください。	周知方法においては提案に基づき可能な範囲で協力します。
14	ワークショップで配置するメンターは、「郡山市に活動拠点を持つ起業家」に限定されますでしょうか。広域圏内の起業家、または郡山市に事業上の関係を持つ外部起業家も対象に含めることは可能でしょうか。	郡山市に活動拠点を持つ起業家を 1 名以上配置してください。
15	ワークショップ内で扱う地域課題・産業テーマについて、発注者側で特に重視されている分野はありますか。 例：農業、観光、ものづくり、医療福祉、地域交通、商店街、事業承継など	テーマについて想定はありません。
16	ワークショップにおけるビジネスプランの作成について、市としては参加者が「個人」で作成することを想定されていますでしょうか。それとも、数名による「グループ」での作成を想定されていますでしょうか。	ワークショップの手法については事業目的達成のために効果的な手法を提案してください。
17	「社会起業家加速化支援プログラム」における発表機会は、例年いつ頃実施されていますでしょうか。開催時期、会場、参加者層、規模感など、過年度実績についてご教示ください。	社会起業家加速化支援プログラムの成果発表会を想定しており、例年 3 月中旬頃開催しております。過去実績については、郡山市HPをご参照ください。

		(https://www.city.koriyama.lg.jp/shiki/119/180115.html)
18	発表機会について、「社会起業家加速化支援プログラム」以外に想定されている連携先・機会がありますでしょうか。また、発表機会は1回の提供でよいか、複数回の開催が必要かについてもご教示ください。あわせて、既存事業との連携ではなく、受注者が独立した発表会を新規に企画・開催する必要があるかについてもご教示ください。発表機会の実施時期について、ワークショップ終了後からどの程度の期間を空けて実施する想定かをご教示ください。	必ずしも受注者が独立した発表会を新規に企画・開催する必要はありません。連携事業や開催回数、発表会の時期等の事業スケジュールはより効果的な手法を提案してください。
19	発表機会における発表者は、ワークショップ参加者全員を想定されていますでしょうか。それとも、希望者のみの発表でも差し支えないでしょうか。また、発表後のアイデア実現支援について、自治体側で接続可能な支援制度、伴走体制、起業支援拠点などがあればご教示ください。	希望者のみの発表を想定していますが、伴走支援体制を含め、多くの方が参加したくなるような内容を提案してください。
20	発表機会の提供について、「他の事業との連携」を行ったうえで、「発表の場において、起業支援の専門家を含めた審査員による審査及び助言を行う」とあります。これは、学生・社会人といった枠組みを超え、同一基準で審査を行うことを想定されていますでしょうか。	審査の手法や基準については効果的な手法等を提案してください。
21	学校訪問キャラバンの対象となる「高等学校等10校程度」について、想定校・候補校はございますでしょうか。候補校がある場合は、具体的な学校名、郡山市内校と広域圏内市町村の学校の内訳、普通科・専門学科等の想定についてご教示ください。	こおりやま広域圏内の高校等から候補となる学校を提案していただき、候補となった学校との協議により受け入れが決定した場合訪問する想定です。

22	<p>学校訪問キャラバンについて、10校程度を訪問することが求められていますが、受託者側の現地稼働を効率化するため、3～4日程度に複数校訪問を集約する形で実施しても差し支えないでしょうか。特に、広域圏内の学校を訪問する場合は、移動距離を考慮し、同一エリアの学校を同日にまとめて訪問できるよう調整したいと考えております。</p>	<p>学校訪問キャラバンについて、複数校訪問を集約する形での提案も可能ですが、実施に際しては訪問先の学校との調整となります。</p>
23	<p>学校訪問キャラバンについて、仕様書では実施場所として「オンライン等」も記載されていますが、10校程度のうち一部をオンライン説明会形式で実施することは可能でしょうか。また、オンライン実施が可能な場合、全10校のうち何校程度までオンライン実施として差し支えないか、ご教示ください。</p>	<p>訪問先の学校側の希望があればオンラインでの開催も可とする想定です。</p>
24	<p>学校訪問キャラバンは、ワークショップ参加者募集のための説明が主目的という理解でよろしいでしょうか。それとも、参加有無にかかわらず、起業家教育の機運醸成を目的とする授業・講演としての実施が求められますでしょうか。</p>	<p>基本は参加者募集のための説明会を目的としていますが、より多くの方が参加したくなるような内容を提案してください。</p>
25	<p>学校訪問キャラバンの1校あたりの標準的な実施時間は、何分程度を想定されていますでしょうか。</p> <p>例：15分程度の説明、45分程度の授業、50分程度のワークショップ、90分程度の講演など</p> <p>また、対象については、全校生徒、1・2年生、希望者、探究授業の特定クラスなど、どの形式を優先されていますでしょうか。</p>	<p>訪問先の学校の希望に応じての対応となる想定です。また、対象についての想定はありません。</p>
26	<p>「みらい発見フェスこおりやま」へのブース出展について、前日設営は必要でしょうか。それとも、当日朝の搬入・設営を想定されていますでしょうか。搬入可能時間および撤収時間についてもご教示いただけますと幸いです。</p>	<p>ブース内で使用する機材等の搬入及び設営については、当日を想定していますが、前日も可能です。前日搬入は15時00分～20時30分、当日搬入は8時15分～9時50分の間となります。また、撤収時間は16時00分～17時00分となります。</p>

27	発注者との定例打合せ、企画協議、進捗確認については、原則オンライン会議で実施し、現地での対面打合せはワークショップ、発表会、ブース出展、学校訪問等の現地実施日に合わせて行う運用で差し支えないでしょうか。	差支えありません。
----	---	-----------